355	21	題号不明	加藤水万	言語	土間伝ふ水除けず立ち紙を漉く	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	374	￥43	￥1	￥1	冬
356	21	題号不明	加藤水万	言語	枯蓮の水漬きゐて水動かざる	2008	『俳句歳時記　第四版』	843	￥43	￥1	￥1	冬
388	22	題号不明	河原枇杷男	言語	冬の暮われを呼びとめゐる道も	2008	『俳句歳時記　第四版』	677	￥43	￥1	￥1	冬
389	22	題号不明	河原枇杷男	言語	京［きやう］終［ばて］わたりに凍てゐし星か又流る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	61	￥43	￥1	￥1	冬
390	22	題号不明	河原枇杷男	言語	呼びとめしやと凍滝を顧みる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	149	￥43	￥1	￥1	冬
391	22	題号不明	河原枇杷男	言語	後ろより死は覗くらむ根深汁	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	267	￥43	￥1	￥1	冬
392	22	題号不明	河原枇杷男	言語	大燈忌蝶いつぴきを率てゆくも	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	463	￥43	￥1	￥1	冬
393	22	題号不明	河原枇杷男	言語	空也忌の蜂をあつめて或る梢［うれ］は	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	456	￥43	￥1	￥1	冬
394	22	題号不明	河原枇杷男	言語	母の忌の烈火のごとき枯尾花	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	603	￥43	￥1	￥1	冬
405	23	題号不明	河野静雲	言語	沙弥が刷る歳徳神も年用意	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	176	￥43	￥1	￥1	冬
406	23	題号不明	河野静雲	言語	袖なしや水仕すみたる朝つとめ	2008	『俳句歳時記　第四版』	717	￥43	￥1	￥1	冬
407	23	題号不明	河野静雲	言語	ちん／＼と黄泉の底より十夜鉦	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	430	￥43	￥1	￥1	冬
408	23	題号不明	河野静雲	言語	にぎやかに提灯つらね寒念仏	2008	『俳句歳時記　第四版』	792	￥43	￥1	￥1	冬
409	23	題号不明	河野静雲	言語	塔［たつ］頭［ちゆう］の皆代かはり少林忌	2008	『俳句歳時記　第四版』	793	￥43	￥1	￥1	冬
410	23	題号不明	河野静雲	言語	時雨忌や心にのこる一作者	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	454	￥43	￥1	￥1	冬
422	24	題号不明	河野頼人	言語	盛塩の凍みしわたつみ祭あと	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	60	￥43	￥1	￥1	冬
423	24	題号不明	河野頼人	言語	掛け干しとことわり自家米お歳暮に	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	190	￥43	￥1	￥1	冬
424	24	題号不明	河野頼人	言語	巫女の髪解かずに下向革コート	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	234	￥43	￥1	￥1	冬
425	24	題号不明	河野頼人	言語	海峡に神事待つ夜のふぐと汁	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	264	￥43	￥1	￥1	冬
426	24	題号不明	河野頼人	言語	柿の木に風も陽もよし大根干す	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	349	￥43	￥1	￥1	冬
427	24	題号不明	河野頼人	言語	出ずにすむ定年たのし雪見酒	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	376	￥43	￥1	￥1	冬
428	24	題号不明	河野頼人	言語	闇を裂く迫門の潮鳴り若布刈の炬	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	423	￥43	￥1	￥1	冬
429	24	題号不明	河野頼人	言語	薪を焚く風呂あり海鼠食はす宿	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	529	￥43	￥1	￥1	冬
447	26	題号不明	関口祥子	言語	寒月へ天守あづけて街眠る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	79	￥43	￥1	￥1	冬
448	26	題号不明	関口祥子	言語	遺言となりし電話の咳の声	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	388	￥43	￥1	￥1	冬
449	26	題号不明	関口祥子	言語	牡丹焚火病み抜けし身のきしむなり	2022	『新版　角川俳句大歳時記　冬』	459	￥43	￥1	￥1	冬
468	27	題号不明	岸風三楼	言語	加茂川の日々に涸れゆく酢茎かな	2008	『俳句歳時記　第四版』	734	￥43	￥1	￥1	冬
469	27	題号不明	岸風三楼	言語	佇めばつぶやく醪寒造	2008	『俳句歳時記　第四版』	735	￥43	￥1	￥1	冬